

MMC インフォメーション

こんにちは！所長の森田です。
今回は、施行期日が迫っている「改正電子帳簿保存法」の
「電子取引」について、改めて概要をご案内いたします。



メールやインターネットを介してやりとりした取引(電子での取引)に係るデータの保存が令和6年1月から紙出力ではなく、**電子的に保存することが完全に義務付けられます。**



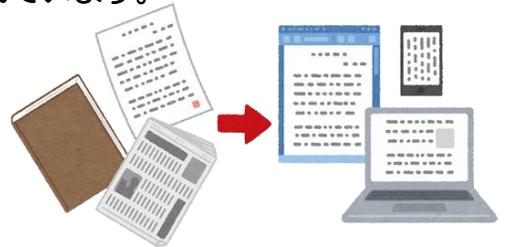
電子帳簿保存法とは～

「電子帳簿保存法」は、原則、紙での保存が義務付けられている帳簿書類を電子データで保存するための要件や、インターネット上でやりとりした取引情報の保存義務などを定めた法律です。

電子データによる保存は、下記の3種類に区分されています。

- ①電子帳簿・電子書類保存
- ②スキャナー保存
- ③電子取引データ保存※

※特に③電子取引データ保存が重要となります



電子取引って？

◆電子取引とは、取引情報の受け渡しを電磁的方式により行う取引をいいます。

少しわかりづらいですね。
簡単に言うと、インターネットを使って何かを購入したり、電子メールで取引先と書類のやり取りをすることです。

例えば、アマゾンや楽天で事務用品や備品を購入したり、ペイペイ、メルペイ、d払い、SUICA等で支払をする、クレジットカードの利用明細をログインして確認する、取引先から電子メールで請求書が届く等が含まれます。



保存すべき電子データは？

◆請求書、領収書、見積書などです

現在、受領している領収書や請求書等の中に以下に当てはまるものがありますか？
「はい」がひとつでもあると対応が必要になります！

確認事項		
1. 電子メール（メール本文や添付ファイル）で請求書や領収書を受領している	はい	いいえ
2. アマゾン、楽天、モトノリ等のインターネットサイトで購入している	はい	いいえ
3. 公共料金の請求は紙が無く、インターネットで確認している	はい	いいえ
4. クレジットカードの利用明細をインターネットで入手している	はい	いいえ
5. ペイペイ、メルペイ等電子決済サービスを利用している	はい	いいえ
6. Suica、PASMO等の支払データをインターネットで入手している	はい	いいえ
7. 従業員がネットで購入した旅費（JR等）を立替払い精算をしている	はい	いいえ
8. 電子請求書や電子領収書等を授受に係るクラウドサービス（Bill One、楽楽明細等）を利用している	はい	いいえ
9. ペーパーレス化されたFAX機能を持つ複合機を利用し、注文書等を受領している	はい	いいえ
10. 請求書や領収書等のデータをDVDやUSBで受領している	はい	いいえ
11. 特定の取引に請求書等を電子的に交換できるシステム（EDI）を利用している	はい	いいえ
12. 運送会社の請求データをインターネットで入手している	はい	いいえ

電子帳簿の保存方法は？

◆電子帳簿を保存する時は、規則性を持たせ、すぐにわかるようにしましょう。

①請求書(PDF)のファイル名に、取引日や取引先、取引金額等を入力する。

例) 2022年(令和4年)10月31日に株式会社〇〇商事から受領した110,000円の請求書

②「取引の相手先」や「月ごと」など
任意のフォルダに格納して保存する。



20221031_(株)〇〇商事_110,000



(株)〇〇商事

③受領した請求書等データのファイル名に連番を付して、エクセル等で索引簿を作成し管理する。（任意のフォルダに格納・保存も必要です）

連番	日付	金額	取引先	備考
①	20221031	110,000	(株)〇〇商事	請求書
②	20221130	330,000	〇〇工務店(株)	注文書

今回の改正を絶好の商機と捉えている各種機器、ソフトウェアの
販売会社等の扇動に踊らされないよう冷静な対応をお願いいたします。

